

### 3 譬喩からよむ『法華経』

【全6回】／開催方法：ハイブリッド

やま ぐち ひろ え  
山口 弘 江

駒澤大学仏教学部  
教授



受講料 会員料金：¥13,000 早割価格：¥12,000(納入期限：4月15日)

【日程】【全6回】

(4/19、5/17、6/14)

【時間】12：30～14：00 / 14：10～15：40

■受講に必要なもの

【テキスト】レジュメ配布

鳩摩羅什訳『妙法蓮華経』(以下『法華経』)28品は、東アジア、とくに日本の仏教界にもっとも大きな影響を与えた経典の一つとして知られています。この中には大乘仏教のエッセンスともいべき教えが各所にちりばめられていますが、重要な教えは物語によるたとえ話で説明される場面が多々あります。仏典におけるたとえ話は譬喩<sup>ひゆ</sup>といい、釈尊の説法形式の一つのジャンルとして重要な意味をもっています。インドにおける『法華経』の注釈書である『法華論』ではこのうち7つが人々や修行者の誤った考えをただす教えであるとみなしました。こうして『法華経』の7つの譬喩はのちに「法華七喩」と呼ばれ、人口に膾炙するようになります。

本講座では『法華経』をより深く理解するため、令和6年度「『法華経』から学ぶ仏教入門」で講読した四要品に含まれる「譬喩中明珠」(安樂行品第十四)と良医病子(如来寿量品第十六)を除いた五つの譬喩を取り上げます。授業ではそれぞれの譬喩の概要やキーワードを紹介するとともに、主要な経文を精読することで、『法華経』の教えが物語の中でなになににたとえられ、どのように表現されているのかを読み解きます。また講義だけでなく講読も行い、経文を漢文で理解できるようになることを目指します。

各回は次のような内容を予定しています。

第1回 ガイダンス：『法華経』と譬喩

第2回 三車火宅(譬喩品第三)：火事から子どもたちを救い出すための方便

第3回 長者窮子(信解品第四)：放蕩息子の遠大な更生計画

第4回 三草二木(薬草喩品第五)：大地に等しく降り注がれる雨の恵み

第5回 化城宝处(化城喩品第七)：巧みに隊商を導く商人の壮大な魔法

第6回 衣裏繫珠(五百弟子受記品第八)：富豪が酔いつぶれた貧しい友に残した宝物

\*令和6年度の講座を踏まえた内容となりますが、はじめて受講される方にも理解いただけるよう努めます。

\*受講にあたり漢文の読解力は問いません。ただし、授業内での理解を深めるために、事前に配布する講読資料を予習して参加されることをお勧めします。

#### 【参考書】

①法華経の七つの譬喩：初めて学ぶ『法華経』

著者：菅野博史 出版社：第三文明社 出版年：2019

②『法華経』(現代語訳大乘仏典2)

著者：中村元 出版社：東京書籍 出版年：2003

③『法華経』上・下(仏典講座7)

著者：田村芳朗・藤井教公 出版社：大蔵出版 出版年：1988